

01 教会ニュース

リバイバルの実

神を見つけた喜びと仕えの恵みで満たされて伝道に努め、初代教会のようにリバイバルしている中国教区

02 いのちのみことば

神は光であって

誰でも光である神を見つけて、それ以上闇の中にとどまらず、ただ光の中で生きていけば、いろいろな人生の問題が解決される。

03 企画特集

「日常に戻ったこと自体が感謝です」

堂会長イ・ジェロク牧師の祈りで五十肩の苦しみから解放されたキム・チェダン勲士は父なる神と主の愛で満ちている。

支教会1月スケジュール

04 証し

「主に会って新しい人生が始まりました」

主を受け入れた後、いやされて祝福されているインドのスニール・クマル聖徒と、0脚が広がる神の力を体験した韓国のイ・ソンファ執事の証し。

万民ニュース

第194号 2018. 12. 23.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「生ける神様を見つけた幸せと喜びを伝えます！」

伝道に努めて愛と仕えでリバイバルしている中国教区



▲今年10月12日金曜夜礼拝に講壇献花をして、霊肉ともに多くの祝福を下され、二倍にリバイバルするように祝福された神に感謝と栄光を帰している。



▲今年10月28日、主日大礼拝の後、中国教区(教区長ファン・グムラン伝道師)は誕生日を祝った。行事部と奉仕部の労苦で美しく飾られた集まりの場所で、芸能部のプレ賛美で始まった行事は、誕生日を迎えた人々だけでなく全員に喜びと幸せをプレゼントした。

万民中央教会には32の教区の他にも、外国人聖徒のための海外教区と、中国人聖徒のための中国教区がある。中国教区は僑胞(韓国系中国人)で構成された1教区と漢族(韓国在住の中国人)で構成された2教区に分かれているが、今年、新来者だけでも110人余りが増えるリバイバルを達成した。

神の力を体験すると伝道の実がたわわに

中国教区リバイバルの一番の秘訣は何だろうか。堂会長イ・ジェロク牧師の伝えるいのちのみことばと神の力が現われる祈りを通して、いろいろな病気がいやされ、問題が解決されるみわざを体験しているからだ。

イ・マンチャン執事(43歳・女性)は「8年前まで、苦しめられていた悪い霊から抜け出そうと拝み屋を訪ねて行きましたが、たくさんのお金を無駄にただけだったし、他の教会に行ってみても、いやされませんでした。でも万民中央教会に通って、堂会長先生に祈りを受けていやされました。主人も伝道されて喘息がいやされたし、ひどい椎間板ヘルニアのために鎮痛剤で生きていた姑も、祈りを受けて完全にいやされました」と証した。このように大きい恵みを体験した彼女は毎日のように伝道し、ほぼ毎週新来者を登録させて、聖徒たちにチャレンジを与えている。

たましいの渇きを覚えて真実の教会を探しているうちに万民中央教会に導かれたキム・ソンオク執事(67歳、女性)は「初めて教会に来たとき、堂会長先生の説教は蜜のようだったし、日照りに恵みの雨に打たれているようで、私は喜びにあふれました。それだけでなく、堂会長先生の祈りで、私は貧血、腎臓疾患、心臓病、胃腸病が、姉は交通事故の後遺症が、姪はうつ病がいやされました。妹は心筋梗塞で危篤になったのですが、堂会長先生の時間と空間を超えた神の力ある祈りで生き返ったのです」と告白する。

出稼ぎのために韓国に来たが、異国暮らしに疲れていたところ、まことの幸せを得た人々もいる。国際結婚で韓国に来た後、慣れない所だし、言葉も通じなくて孤独でつらい生活をしているうちに万民中央教会に来たプヤンジェ執事(37歳、女性)は「実家に帰って来た気分でした。主のしもべと働き人の方々が愛をもって仕えてくださるからうれしかったし、説教の通訳を聞いたら、韓国語もよく覚えられました」と語った。彼女は神がともにおられる教会と牧者に出会った幸せを同胞の中国人に伝えて、今年だけでも9人を登録させた。

働き人の献身で愛と幸せがいつぱいの主日

中国教区のリバイバルは主のしもべたちの熱い魂への愛とともに、働き人たちの労苦と献身なしにはあり得ない。働き人たちは何としてでも主に受けた恵みと愛に報いようと、新来者を顧みることと訪問に心を傾けている。

特に区域長たちは土曜日だけは仕事をしないで、区域礼拝と伝道、訪問に集中し、主日には聖徒たちにどうすれば喜びと幸せを与えようか、一週間の間たままった疲れを取ってあげようかという心で、各自の持ち場で最善を尽くしている。

芸能部の男性伴奏団と重唱団、女性重唱団とリズム団は行事があるとプレ賛美と特別賛美を担当している。男・女礼拝部は集まりの場所に来た聖徒たちを歓迎し、行事部は場所を美しく飾り、奉仕部はおいしい昼食のにゅうめんを用意するために玉の汗を流す。新来者管理部は新しく来た人に礼拝の席へと案内し、新来者教育をよく受けられるように助けている。特に毎月開かれる誕生パーティーには、プレゼントとともに踊って賛美して、愛によって一つになる幸せな時間を持つ。

このような愛と仕えに感動し、堂会長イ・ジェロク牧師の伝えるいのちのみことばといやし祈りを通して神の力を体験した新来者は、知人に伝道して教会と一緒に来るので、これを喜ばれた神がリバイバルの実を毎日加えてくださるのだ。

「神は光であって」シリーズ1

神は光であって

「神は光であって、神のうちには暗いところがない。
これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。」
-第一ヨハネ1:5-

“

光である神を見つけて、
それ以上闇の中にとどまらず、
ただ光の中にとどまれば、すべてが榮えて、
いろいろな人生の問題がすっきり解決される。

”

万民中央聖潔教会・堂会長イ・ジェロク牧師

いくら闇が濃い夜でも、一度太陽が上れば、闇はどこかに消えてしまう。同じように、光の中にとどまる人には、太陽の前に闇が消えるように、問題が解決されて答へと祝福が臨み、さらに周りの人々も光へと導くことができる。

それでは、光と闇は靈的に何を意味するだろうか。また、私たちが闇を脱ぎ捨てて、光の中にとどまるには、どのようにしなければならぬのか、調べてみよう。

1. 光の源であられる神

宇宙万物を創造された神は、病気や事業の場、家庭のどんな問題でも、解決できないことのない全知全能の方である。だから、神を見つけることが問題解決の最も確かな道であり、何より尊い永遠のいのちを得る方法である。これが真実であることを知っている人ならば、誰でも神を見つけないと思おう。

神は光であるので、誰でも光に従って出て来さえすれば、その中におられる神を見つけることができる。光とは靈的に、闇が全くない、永遠で完全な神を意味する。〈ヤコブ1:17〉に、神には移り変わりや、移り行く影はないとある。

このように、光とは靈的に「神ご自身を指すものであり、最高の完璧さを現わす表現」である。私たちが何かの単語で神を表現するのは不可能だが、この地上のもので説明して現わしてこそ人が理解できるので、「光」という単語で表現したのだ。

2. 信仰、善、義、霊、光との関係

信仰生活を始めて最初に学ぶのは「信仰」である。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハ3:16)とあるとおり、イエス・キリストを信じることによって罪が赦されてこそ、永遠のいのちを持つことができ、天国を所有できるからだ。

信仰は二つに分けることができる。肉の信仰は、単に聖書のみことばを聞いて知っている知識的な信仰であり、行いのない死んだ信仰のことを言う。一方、霊の信仰は、無から有が創造されることをみことばのとおり信じる信仰であり、生きた信仰、すなわち、行いが伴うまことの信仰である。

それでは、霊の信仰を所有して、窮極的に達成しようとするのは何だろうか。最初の人アダムが罪を犯した後、失った神のかたちを取り戻すことである。すなわち、善そのものであられる神に似せられていくことであり、悪はどんな悪でも避け、心がただ「善」に変えられて実践することである。このように信仰生活をしながら、どれほど善を心に耕したのかがわかる基準がまさに「義」である。

ここで「義」とは「罪を捨てて神のこぼれを守り行い、信仰を追い求めて聞き従っていくこと」であり、自分の思いや経験、知識に合わなくても、真理を追ってただ「アーメン」と従うことを意味する。したがって、神の子どもならば変わらず義を行うべきだが、実際はどうだろうか。

たとえば「赦しなさい」というメッセージに恵みを受けて、初めは赦すが、自分の利益に合わない状況に会えば相手を赦せない。これは、自分の中に変わる属性、すなわち肉があるので、継続的に義を行えないのだ。

イエス様が「七度を七十倍するまで赦しなさい」と言われたので赦すものの、最後まで赦さなければならない。これがまさに変わらない「霊」というものであり、このような心になるためにどうしても必要なものが愛である。イエス様が全人類の罪を贖ってくださるために十字架につけられて死なれた義の行為も、まさに愛があったのでできたことだった(ローマ5:18)。

したがって、「義」が愛を通して一つの完成された結晶体として出て来たものが「霊」であり、御霊の歩みに入れば、神を信じて従い、行うことになり変わらなくなる。このような姿があらゆる分野で完全に現れる時がまさに「全く聖なるものとされた」ということであり(1テサ5:23)、そうなれば、行うことは何でも「光」として現れる。行く所はどこでも神の栄光を現し、神がともにみわがが現れる。つまり「霊」が内面的な属性を表現したものとすれば、「光」はこの内面的なものが外に現れた時の属性を表現したものだ。

私たちが太陽を指して「太陽」と言うが、実際に私たちが見ているのは太陽の光である。つまり「神は霊ですから」(ヨハ4:24)と言いながら「神は光であって」と言うのは、神は霊、すなわち変わることはない完全に聖なる方であられるが、これが私たちに現れるのは光だからである。しかし、私たちが必ず全く聖なるものとき



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

れた段階に達してこそ光を放つのではなく、たとえ初心の者であっても、その段階に合った光を放つことができる。

〈エペソ5:9〉に「――光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです――」とある。ここで「あらゆる善意」とは「善」のことを言い、「正義」とは善の基準になる「義」を指し、「真実」とは変わらない「霊」の心のことを言う。したがって、光の実には必ず善が現れるものの、義の行いが変わらない霊の属性をもって現れなければならない。

たとえば、まだ御霊の歩みに入っていないとすれば、その人に該当する善の段階の姿が義の行いを通して出て来る。しかし、肉があるほど状況によって変わる余地がある。つまり「信じます」と言って同じ告白をしても、人によって善と義、霊と光が違うので、神の愛と恩寵を受けるのも違って来る。しかし、御霊によって歩むようになると、相手を感じさせるほどの善が変わらない義の行いを通して現われ、全く聖なるものとされれば、あらゆる分野で最高の善の心で信仰と従順と行いの義を変わず行う。

信仰の父アブラハムは神のことばに従って信仰と従順と行いの義を変わずに行った。最後の関門だったひとり子イサクをささげる試みにも、死者の中からよみがえらせることもできる神を信じたので、おことばに完全に聞き従ってイサクをささげた。

このように神に全面的により頼んで従ったので神から義と認められたし、善そのものであられる神の友と呼ばれたほど全き善を認められたのだ。ついに神はアブラハムを信仰の父として立ててください、彼の行いは今日、神を信じる私たちすべてを光で照らしている。

3. 光と反対になる闇に属するもの

このように光に属するものがある一方、光と反対になる闇に属するものもある。闇とは一言で言うと、罪に属するすべてである。すなわち、「肉の行い」と「肉的なこと」、そして「自分の目には正しいと思えるが、神の御目には悪いこと」などである。

たとえば、不義、悪、むさぼり、悪意、ねたみ、殺意、争いなどの「肉的なこと」をもっぱら考えていること、不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意などのような「肉の行い」は、聞くだけで闇が感じられる。しかし、自分の目には正しいと思えるが、神の御目には悪に該当するものは、闇と感じられないこともある。しかし、光で照らせば、必ず闇は現われるようになっている。

聖書を読めば、イエス様が、時が来てエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺されることを言われた。この時、ペテロは「主よ。…そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」といさめ始めた。しかし、イエス様は「下がれ。サタン。」とペテロを叱られた(マタ16:21～23)。

ペテロはイエス様がエルサレムに行くのを引き止めることが師のためだと思ったが、神がご覧になる時は人のことを思う闇だったのだ。それで、〈ヨハネ12:46〉でイエス様が「わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれもやみの中にとどまることのないためです。」と言われたのだ。誰でもイエス様のみもとに出て来て、イエス様が教えられた霊の愛と八つの幸い、そして御霊の実などの真理のみことばに従う人は、それ以上闇の中にとどまらなくて、光のほうに出て来るのだ。

4. 光のほうに出て来ることができない理由

まず、闇が好きで、光が嫌いだからである(ヨハ3:19

～20)。世の快樂と物質、自分の利益を追って生きるのが好きなので、真理と善を追いなさいという光のみことばを嫌うのだ。また、自分の思いに遮られて誤解するからである。たとえば「真面目に生きればいいだろう。なぜ教会に行っても救われるのか」と言うのだ。彼らは、神は認めるが「なぜ自分が罪人であって、主を受け入れなければならないのか」がわからないので、教会に来ないのである。

次に、神を信じる人々につまずかされる場合である。時々、教会に通っている人々が偽りを言って偽善的だから教会に行かない、と言う人々がいる。しかし、教会に通っているからといって、みな主を信じているのではない。

〈マタイ7:21〉に「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」とある。みことばを聞いて守り行う人だけがまことの信仰を所有した人である。口では信じると言いながら、世の人々と変わるところなく行うならば、これは神とかかわりがなく、救われることもできない。

もしこのような人々を見て心の戸を閉ざして救われず、永遠のいのちを持っていないならば、どれほど愚かなことだろうか。信仰の手本となる光の人々を見て、神の御前に出て来ることができ、知恵ある心を持つように願う。

5. 光の中にとどまる人に臨む祝福

神は明らかに「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」(マコ11:24)と約束されたし、また「あなたがた

の信仰のとおりになれ」と言われた(マタ9:29)。

光である神のほうに出て来て、信仰生活を熱心に行っているといっても、相変わらず病気が離れないで、事業の場の問題、家庭の問題などで苦しんでいる人々がいるが、その理由は何だろうか。本人は光の中を歩んでいると言うが、実際はそうではないからである。

私たちが光のほうに出て来ることと、光にとどまることには、違いがある。ひとまず光のほうに出て来たとしても、皆が光にとどまっているのではない。再び闇に戻るなら、これは決して光の中にとどまっていると言えない。

たとえば、他の人を憎んでいた人が恵みを受けて心をしぼらく変えていて、時間が流れて以前のように再び憎むなら、何の役にも立たないのだ。また、光にとどまるといっても、完全な光の次元に至る時まで、絶えず光へとより近くに出て来る過程が必要なのだ。結局、完全に光にとどまる時、〈第一ヨハネ3:21～22〉のみことばのとおり、大胆に神の御前に出ることができ、求めるものは何でも頂くことができる祝福のみことばが臨むようになる。

愛する聖徒の皆さん、

光である神を見つけて、それ以上闇の中にとどまらず、ただ光の中にとどまれば、すべてがすんなり解決して、いろいろな人生の問題がすっきり解決される。光である神の子どもたちのように行うだけでなく、完全に光の中に出て来て、光の実を結び、思う存分神に栄光を帰されるように、主の御名によって祈る。

「五十肩がこんなにすみやかにいやされるなんて！」

キム・チェダン勸士(46歳、韓国1大大3教区)

雨がたくさん降っていた2018年7月1日(主日)の朝、片手には荷物を持って、もう一方の手に大きい傘をさして歩いていたのですが、その日の午後から右肩がしくしく痛くなり始めました。「無理したのかな」と思いましたが、その夜、我慢しきれないほど痛んで、まともに眠れませんでした。

二日後には腕を全く動かせないほどになって、主人が髪を洗うのを、娘がドライヤーで乾かすのを手伝ってくれて、やっとのことで出勤の支度を終えました。誰かが触るだけで悲鳴が出るほど痛くて、よく眠れないから頭痛までしてきました。

7月4日(水)、超音波撮影の結果、五十肩で、肩の炎症がひどく、関節に水がたまっていると言われました。治療には6か月以上かかると言われたのです。

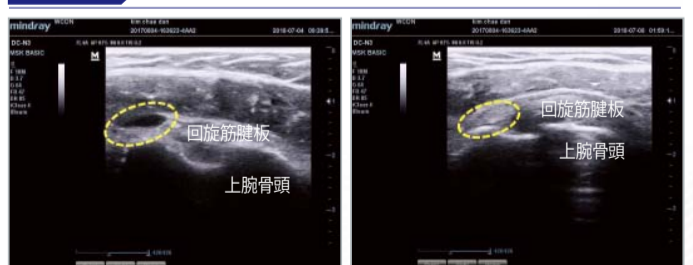
私は家に帰って、GCN放送で堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教を聞いた後、続くいやしの祈り

を心を込めて受けました。すると祈りを受けてすぐ、腕がスッと上がり始めたのです。ハレルヤ！わずか数時間前でも腕に触ることさえつらかったので、私にはとても不思議でした。

翌日には右腕を上げることもでき、その次の日の夕方には完全に良くなって、腕をいくら回しても痛みがなくなりました。周りの人たちも驚きました。腕を自由に動かせるから日常生活が思いどおりにできて、とても幸せです。すべての感謝と栄光を父なる神様におさげします。



超音波写真



▲祈りを受ける前、肩の関節包内に炎症による粘液がたまって痛みを誘発している。 ▲祈りを受けた後、痛みを誘発していた肩の関節包内の炎症による粘液がなくなっている。

1月支教会スケジュール

1月27日(日)

名古屋万民教会

癒し集会(講師:時国みや子牧師)



「主を受け入れた後、 たくさんの病気と 腸チフスがいやされて、 祝福されています」

スニール・クマル聖徒(27歳、インド・デリー万民教会)

伝統的なヒンズー教の家庭で生まれた私は、成長しながらいつもからだの調子が悪く、何事もまともにできませんでした。いろいろな病気でいつも薬を飲んで生きていたし、死の直前まで行ったこともあり。悪夢をしょっちゅう見るから安眠できなかつたし、刃物をそばに置いて寝たり、ヒンズー教の経典を読んだりなど、呪術的な方法を使ってみましたが、全く効果がありませんでした。

そうしていた2013年の夏、私がとても具合が悪かった時に、会社の友だち(スバシ)が自分の教会を紹介する、そこに行けばいやされる、と言うから、生まれて初めて教会に行きました。デリー万民教会の担任キム・サンフィ牧師先生と聖徒の皆さんが愛をもって接して下さるのでうれしかったし、堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教を聞いて、イエス・キリストだけが救い主だということを知ることになりました。

私は主を受け入れた後、教会に通って、主日を守って十分の一献金をしなければならぬというメッセージを聞いて、そのまま従いました。するとすべての病気がいやされただけでなく、悪夢からも解放されました。

月給も上って、経済的な事情で別れて住んでいた家族と一つ屋根の下で暮らせるようになったし、信仰生活も一緒にしました。何の希望もなかった私にこのように多くの祝福を下された神様の恵みに感謝して、各種の礼拝はもちろんダニエル徹夜祈禱会にも参加して、人が嫌がるような仕事を引き受けました。誰かに言われな

くても、土曜日なら聖殿掃除をして、主日にも熱心に奉仕して、楽しく信仰生活をしました。

そうしているうちに神様の恵みをもう一度体験することがありました。2018年3月、食欲がなくなって、嘔吐、下痢に加え、40度を超える高熱と頭痛で苦しみました。病院で診断してもらった結果、伝染病の腸チフスでした。

担任の牧師先生に神の力あるハンカチ(使19:11～12)で祈りを受けて病状は好転しましたが、完全によくないので、病院に行き処方してもらった薬を四日間服用しました。ところが、かえってさらに悪くなったし、ついに気力までなくなって、立っていたり、座っていたりすることさえ大変でした。結局、私は「悔い改めにふさわしい実」という説教を聞いて、いやされることができなかった理由を悟るようになりました。

それまでたくさんの不思議とするしを見てきたのに、信仰を持ってなくて、頭に知識としてだけしまっておいたことを発見したのです。私は世に頼ったことを悔い改めて、信仰によって続いて堂会長先生のいやしの祈りを受けました。すると驚くべきことに、翌朝、頭痛と熱が全部なくなったのです。その後、韓国に祈禱課題を送って、3月30日、金曜徹夜礼拝の時、堂会長先生のいやしの祈りを受けた後には完全にいやされたのです。ハレルヤ！

このことで私は信仰が成長しただけでなく、前よりもっと健康になりました。いつも良いものだけ下さる父なる神様、主にすべての感謝と栄光をお帰しし、祈ってくださった堂会長先生にも感謝します。

小学校5年生の時のことです。学校で隣の席にいた男の子が、私が机の線を越えたと、暖炉にくべる太い薪でいたずらして私の脚をたたいたのですが、その日から脚が痛くなり始めました。よく歩けないから母におんぶしてもらって学校に行く時もあったし、トイレに行く時は壁に手をつけて歩いたりしました。鍼も打ってみて、お灸もすえてみたのですが、効果がなかったし、年を取るにつれて脚はだんだん曲がってきました。

中学校3年生の時、親戚が家に遊びに来て写真を撮ったのですが、私の脚はO型に曲がっていたのです。とてもショックで、「私は生きていなければならないのか」と思いさえしました。眠る時はひもで脚を縛ってもみだし、重い物で押さえておいたりもしたのですが、痛いだけで効果がなかったのです。まともに歩けなかつたし、雨が降る二日前からは痛みが深刻になって、脚を縮めたまま眠らなければなりません。

そうしていた2006年、母の伝道で万民中央教会を知りました。感謝なことに、聖殿で礼拝をささげて、堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けたのですが、その後、脚の痛みが完全になくなって、雨が降っても関係なくなりました(写真1)。

2018年2月18日、堂会長先生が聖徒たちのために各自用意したハンカチに神の力を込める祈りをしてくださいました(使19:11～12)。私は「神の力で脚がぐっと伸びるようにしてください」という心で、ハンカチ

ケースに私の写真を入れて祈りを受けました。そして、忙しい中でも「愛の章」「八つの幸い」など、堂会長先生の説教を聞いて変えられようと努め、いつも喜んでいようと努力しました。

5月13日の主日、教会に行くためにスーツを着たのですが、鏡に映った姿がなぜかきれいに見えました。それでも私の脚が伸びたとは全然思えなかつたのです(写真2)。

しばらくして職場でズボンを履いて働いているうちに、前とは違って、膝から内側にくっついた感じがしました。「ああ、O脚のいやしのために祈りを受けたじゃない！」と思い出して、トイレに行き鏡を見たら、驚いたことに脚がぐっと伸びていたのです。ハレルヤ！

どんなに喜びと感謝の涙を流したのでしょうか。このように私の脚が伸びたのを見て、周りの人たちが神様の奇跡だと言っています。一生の切なる願いに答えてくださった愛の父なる神様に、すべての感謝と栄光をおささげします。

「O脚がぐっと伸びて、 周りで奇跡だと言っています！」

イ・ソンファ執事(48歳、中国1教区)



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

●イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

●イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

●イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

●イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

●イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

●名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

●イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

●イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

●岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

●イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライズ米須301号
T) 098-914-3027